

令和 7 年度 実施設計書

審査 設計者

工事番号  
(設計書コード) 37 - FE340 - 02 - 01 - 03

建設工事名 令和7年度（社総）県道島田岡部線下水道築造第3工区工事

路線河川名 県道島田岡部線 建設工事箇所 藤枝市南新屋地内

建設工事金額

工 期 令和 8 年 2 月 2 7 日限り 週休2日推進工事補正 （月単位の週休2日（合計））

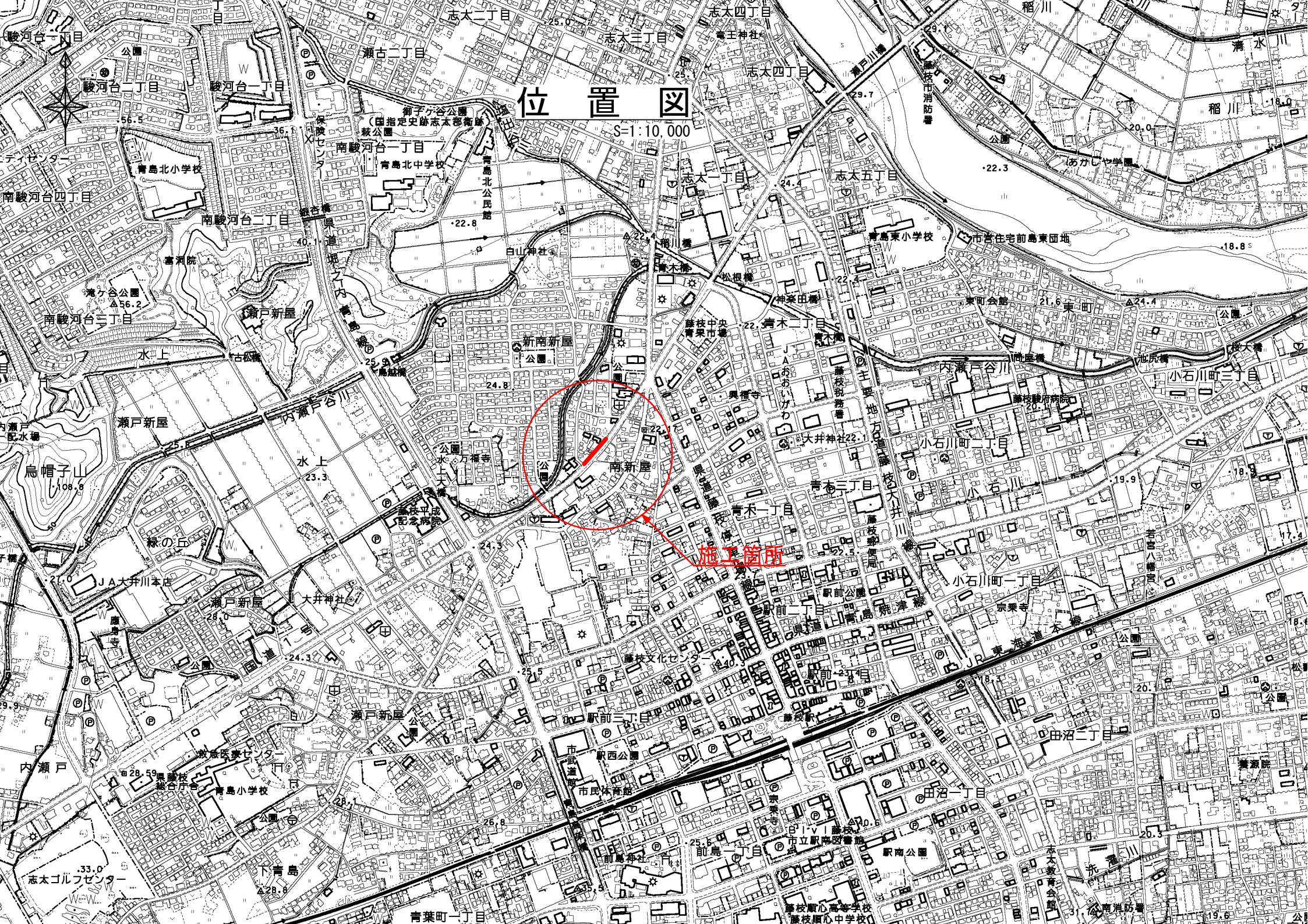
建設工事概要	施工延長	93.2	m
	管路延長	93.2	m
	リブ管径200	90.1	m
	1号マンホール	4	基
	取付管	4	箇所
	舗装工	177	m2

歩掛・単価適用年度 令和 7 年 9 月 基本単価 令和 7 年 9 月 地区コード 220 地区

起 終 点 指 定 ⇔

内訳表、施工単価表に記載されている機械の機種などは該当機種の使用を指定するものではなく設計上の参考である

$S=1:10,000$



## 工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費					
- 管路					
式	1				
-- 管きょ工 管径200mm					
式	1				
--- 管路土工					
式	1				
---- 機械掘削工(バックホウ) クレーン機能付0.2m3級 排出ガス対策型					T0005
m3	150				第 1号表 労補 1号表
---- 埋戻工0.20m3級バックホウ投入 再生盛土材(路床) 変化率1.26					T0020
m3	120				第 2号表 労補 2号表
---- 残土運搬・処分工(0.20m3級バックホウ) 現場から仮置き場					T0029
m3	150				第 3号表 労補 3号表
---- 残土運搬・処分工(0.60m3級バックホウ) 仮置き場から処分場					T0031
m3	150				第 7号表
--- 管布設工					
式	1				

## 工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- リブ付硬質塩化ビニル管設置工 呼び径200mm	m	90.1			
---- 継手材料費 φ200	式	1			M0003 第 11号表
---- 埋設標識テープ設置工 下水道用表示テープ 200mm	m	90.1			第 12号表 労補 4号表
---- 埋設標識シート設置工 下水道用埋設シート	m	90.1			第 13号表 労補 5号表
---- コンクリート削孔（コンクリート穿孔機）	孔	1			SP 3号表 労補 6号表
--- 管基礎工	式	1			
---- 砕石基礎 機械施工（バックホウ投入） 10m <sup>3</sup> 以上 再生盛土材（路床）	m <sup>3</sup>	33			T0130 第 14号表
--- 管路土留工	式	1			
---- アルミ矢板建込・引抜工（両側分）0.20m <sup>3</sup> 級バックホウ 掘削深2.0m以下	m	30			T0203 第 15号表 労補 7号表

## 工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
----- アルミ矢板建込・引抜工（両側分）0.20m3級バックホウ 掘削深2.5m以下	m	63			T0209 第 18号表 労補 8号表
----- 仮設材質料（アルミ矢板） H=2.0m 46枚×8日=368・枚	式	1			T0198 第 21号表
----- 仮設材質料（アルミ矢板） H=2.5m 48枚×15日=720・枚	式	1			T0197 第 22号表
----- 腹起材・切梁材 設置撤去工(軽量金属) 1段	m	30			T0095 第 23号表 労補 9号表
----- 腹起材・切梁材 設置撤去工(軽量金属) 2段	m	63			T0100 第 24号表 労補 10号表
----- 腹起材・切梁材質料 1段 矢板長2.0m	m	30			T0105 第 25号表
----- 腹起材・切梁材質料 2段 矢板長2.5m	m	63			T0115 第 26号表
----- 腹起材・切梁材 基本料	式	1			T0127 矢板長2.0m 第 27号表
----- 腹起材・切梁材 基本料	式	1			T0126 矢板長2.5m 第 28号表

## 工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
--- 開削水替工	式	1			
---- 水替工 φ50mm×2台	式	1			M3029
--- マンホール工	式	1			第 29号表 労補 11号表
---- 組立マンホール工(機械施工) 1号マンホール 深さ3m以下 4箇所以上 時間の制約なし 夜間作業あり	式	1			
---- マンホール材料費 1号マンホール	式	1			M0002
---- 底部工 基礎あり インパートあり	箇所	4			第 32号表
-- 取付管	式	1			第 33号表 労補 12号表
--- 管路土工	式	1			
---- 機械掘削工(バックホウ) クレーン機能付0.2m3級 排出ガス対策型	m3	1.0			T0005



## 工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 埋戻工 0.20m3級バックホウ投入 再生盛土材(路床) 変化率1.26	m3	10			T0020 第 2号表 労補 14号表
---- 残土運搬・処分工 (0.20m3級バックホウ) 現場から仮置き場	m3	10			T0029 第 3号表 労補 15号表
---- 残土運搬・処分工 (0.60m3級バックホウ) 仮置き場から処分場	m3	10			T0031 第 7号表
--- 管基礎工	式	1			
---- 砂基礎 機械施工 (バックホウ投入) 10m3未満 再生砂	m3	3			T0135 第 36号表
--- 取付管布設工	式	1			
---- 取付管布設および支管取付工【材工共】 管径 150mm 硬質塩化ビニル・強化プラスチック製 3m以上5m未満 5箇所未満 夜間作業あり	箇所	4			
---- 取付管材料 φ150	式	1			M0004 第 37号表
---- 管明示設置工 下水道用表示テープ 150mm	m	18.7			第 38号表 労補 16号表

## 工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 管明示設置工 下水道用表示シート 150mm	m	18.7			第 39号表 労補 17号表
-- 付帯工	式	1			
--- 舗装撤去工	式	1			
---- 舗装版切断	m	378			SP 6号表 労補 18号表
---- 舗装版切断	m	41			SP 7号表 労補 19号表
---- アスファルトカッター汚泥処分工	式	1			M3116 第 40号表
---- 舗装版破碎	m <sup>2</sup>	163			SP 8号表 労補 20号表
---- 舗装版破碎	m <sup>2</sup>	110			SP 9号表 労補 21号表
---- アスファルト殻運搬・処分 現場から仮置き場 舗装版厚150mm超	m <sup>3</sup>	33			T0147 第 42号表 労補 22号表



## 工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- アスファルト殻運搬・処分 仮置き場から処分場 舗装版厚150mm超	m <sup>3</sup>	33			T0148 第 43号表
---- アスファルト殻運搬・処分 現場から仮置き場 舗装版厚150mm以下	m <sup>3</sup>	5			T0149 第 44号表 労補 23号表
---- アスファルト殻運搬・処分 仮置き場から処分場 舗装版厚150mm以下	m <sup>3</sup>	5			T0150 第 45号表
--- 舗装復旧工	式	1			
---- 掘削	m <sup>3</sup>	20			SP 14号表 労補 24号表
---- 残土運搬・処分工 (0.20m <sup>3</sup> 級バックホウ) 現場から仮置き場	m <sup>3</sup>	20			T0029 第 3号表 労補 25号表
---- 残土運搬・処分工 (0.60m <sup>3</sup> 級バックホウ) 仮置き場から処分場	m <sup>3</sup>	20			T0031 第 7号表
---- 上層路盤 (車道・路肩部)	m <sup>2</sup>	163			SP 15号表 労補 26号表
---- 上層路盤 (歩道部)	m <sup>2</sup>	14			RC-40 SP 16号表 労補 27号表

## 工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 基層（車道・路肩部）	m <sup>2</sup>	163			SP 17号表 労補 28号表
---- 表層（車道・路肩部）	m <sup>2</sup>	163			SP 18号表 労補 29号表
---- 表層（歩道部）	m <sup>2</sup>	14			SP 19号表 労補 30号表
---- 不陸整正	m <sup>2</sup>	80			SP 20号表 労補 31号表
--- 舗装仮復旧	式	1			
---- 表層	m <sup>2</sup>	97			SP 21号表 労補 32号表
--- 区画線工	式	1			
---- 区画線設置〔溶融式手動〕 実線 15cm 塗布厚1.5mm 白	m	93			第 46号表
-- 仮設工	式	1			

## 工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
--- 交通管理工	式	1			
---- 交通誘導警備員	式	1			第 47号表 労補 33号表
直接工事費計					
工種区分 No. 31 下水道工事(2)					
共通仮設費 (一般交通影響有り(1)-2)	式	1			
運搬費	式	1			M0005
六価クロム溶出試験費	式	1			第 48号表
	式	1			第 49号表
共通仮設費計					
純工事費計					

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
現場管理費 (一般交通影響有り (1) - 2)	式	1			
工事原価計					
一般管理費等 (金銭的保証を必要とする)	式	1			
工事価格計					
消費税相当額	式	1			
請負工事費					

T O O O 5		機械掘削工(バックホウ) クレーン機能付0.2m3級 排出ガス対策型		第 1号表		(労務費補正表参照)
金	円	100 m3 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役						1
		人				
普通作業員						1
		人				
バックホウ〔クローラ型〕 運転 山積0.28m3 (平積0.2m3) 排出ガス対策型 (第2次基準値)						1
		時間				
諸雑費						
		式	1			
計						
単価						
		m3				

T O O 2 0					
埋戻工0.20m3級バックホウ投入 再生盛土材(路床) 変化率1.26					
第 2号表 (労務費補正表参照)					
金 円 100 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役					1
	人				
普通作業員					1
	人				
路床材 再生盛土材					1
	m3	126			
バックホウ〔クローラ型〕 運転 山積0.28m3 (平積0.2m3) 排出ガス対策型 (第2次基準値)					1
	時間				
タンバ締固め					1
	m3	100			SP 1号表
諸雑費					
	式	1			
計					
単価					
	m3				

T O O 2 9		残土運搬・処分工 (0.20m3級バックホウ)				第 3号表		(労務費補正表参照)
金 円		100 m3 当り		現場から仮置き場				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要		
発生土処分工 L=1km, BH0.2m3積込 レキ質土, ダンプトラック 4t, DID区間有り, 排出ガス対策型		m3	100			第 4号表		
計								
単価		m3						



発生土処分工  
L=1 km, BH0. 2m3積込  
レキ質土, ダンプトラック 4 t, DID区間有り, 排出ガス対策型

第 4号表 (労務費補正表参照)

金 円 100 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
ダンプトラック運搬・ 4 t車 (溝掘工事) バックホウ 0. 2m3積込 DID区間有り, L=1 km	m3	100			第 5号表
計					
単価	m3				

ダンプトラック運搬・4 t車 (溝掘工事) バックホウ 0.2 m <sup>3</sup> 積込 D I D区間有り, L=1 km 金 円 10 m <sup>3</sup> 当り					
第 5号表 (労務費補正表参照)					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ダンプトラック運搬 (1日当り) 4 t車	日				第 6号表
計					
単価	m <sup>3</sup>				

ダンプトラック運転 (1日当り) 4 t 車					
第 6号表 (労務費補正表参照)					
金 円 1 日 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
運転手 (一般)	人				
軽油 パトロール給油	L				
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4 t 積級	供用日				
タイヤ損耗費 ダンプトラック 4 t 良好	供用日				
諸雑費	式	1			
計					

T O O 3 1 残土運搬・処分工 (0.60m3級バックホウ)					
第 7号表					
仮置き場から処分場					
金 円 100 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
積込 (ルーズ)	m3	100			SP 2号表
発生土処分工 L=21km, BH0.6m3積込 レキ質土, ダンプトラック 10t, DID区間有り, 排出ガス対策型	m3	100			第 8号表
残土処分費(普通土) 大河原事業(株)川口残土処分場	m3	120			
計					
単価	m3				

発生土処分工 L=21km, BH0.6m3積込 レキ質土, ダンプトラック 10t, DID区間有り, 排出ガス対策型 金 円 100 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
ダンプトラック運搬・10t車(溝掘工事) バックホウ 0.6m3積込 DID区間有り, L=21km	m3	100			第 9号表
計					
単価	m3				

ダンプトラック運搬・10t車(溝掘工事) バックホウ 0.6m3積込 DID区間有り, L=21km 金 円 100 m3 当り					
第 9号表					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ダンプトラック運搬(1日当り) 10t車	日				第 10号表
計					
単価	m3				

ダンプトラック運転 (1日当り) 10t車					
第 10号表					
金	円	1 日 当り			
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
運転手 (一般)	人				
軽油 パトロール給油	L				
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t 積級	供用日				
タイヤ損耗費 ダンプトラック 10t 良好	供用日				
諸雑費	式	1			
計					



M O O O 3		継手材料費 φ200		第 11号表		
金	円	1 式 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
リブマンホール継手 ゴム可とう φ200 (拡張バンドタイプ)		個	7			
リブマンホール継手 ゴム可とう φ200 (貼付タイプ)		個	1			
計						

管明示設置工  
下水道用表示テープ 200mm

第 12号表

(労務費補正表参照)

金 円 100 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員	人				
各種表示テープ					設計者入力単価
	m	100			
諸雑費	式				
計					
単価	m				

管明示設置工 下水道用埋設シート					
金 円 100 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員	人				
各種表示テープ	m	100			設計者入力単価
諸雑費	式				
計					
単価	m				

T O 1 3 0		砕石基礎 機械施工 (バックホウ投入) 10m3以上 再生盛土材 (路床)				第 14号表
金	円	100 m3 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
砕石基礎工 機械施工 10m3以上 夜間作業あり		m3	100			
路床材 再生盛土材		m3	126			
計						
単価		m3				

T O 2 0 3           アルミ矢板建込・引抜き（両側分）0.20m3級バックホウ 掘削深2.0m以下           第 15号表           (労務費補正表参照)					
金	円	100 m 当り			
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
アルミ矢板建込(両側分) 0.20m3級バックホウ 掘削深2.0m以下	m	100			T0204 第 16号表
アルミ矢板引抜き(両側分) トラククレーン 掘削深2.0m以下	m	100			T0205 第 17号表
諸雑費	式	1			
計					
単価	m				

T O 2 0 4           アルミ矢板建込(両側分) 0. 2 0 m3級バックホウ 掘削深2. 0 m以下           第 16号表           (労務費補正表参照)					
金 円 100 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人				
特殊作業員	人				
普通作業員	人				
バックホウ〔クローラ型〕 運転 山積0. 2 8 m3 (平積0. 2 m3) 排出ガス対策型 (第2次基準値)	時間				
諸雑費	式	1			
計					
単価	m				

T O 2 0 5		アルミ矢板引抜(両側分)トラッククレーン 掘削深2.0m以下		第 17号表		(労務費補正表参照)
金	円	100 m 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
トラッククレーン オペレータ付き ラチスジブ型、油圧伸縮ジブ型4.9t吊		日				賃料
諸雑費		式	1			
計						
単価		m				



T O 2 0 9           アルミ矢板建込・引抜き（両側分）0.20m3級バックホウ 掘削深2.5m以下           第 18号表           (労務費補正表参照)					
金	円	100 m 当り			
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
アルミ矢板建込(両側分) 0.20m3級バックホウ 掘削深2.5m以下	m	100			T0210 第 19号表
アルミ矢板引抜き(両側分) トラククレーン 掘削深2.5m以下	m	100			T0211 第 20号表
諸雑費	式	1			
計					
単価	m				

T O 2 1 0		アルミ矢板建込(両側分) 0. 2 0 m3級バックホウ 掘削深 2. 5 m以下			第 19号表	(労務費補正表参照)
金	円	100 m 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
バックホウ〔クローラ型〕 運転 山積0. 2 8 m3 (平積0. 2 m3) 排出ガス対策型 (第2次基準値)		時間				
諸雑費		式	1			
計						
単価		m				

T O 2 1 1		アルミ矢板引抜(両側分)トラッククレーン 掘削深2.5m以下		第 20号表		(労務費補正表参照)
金	円	100 m 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
トラッククレーン オペレータ付き ラチスジブ型、油圧伸縮ジブ型4.9t吊		日				賃料
諸雑費		式	1			
計						
単価		m				

T O 1 9 8		仮設材質料 (アルミ矢板)		第 21号表	
		H=2.0m 46枚×8日=368・枚			
金	円	1 式 当り			
積 算 項 目		単位	数 量	単 価	金 額
アルミ矢板賃料 H=2.0m		日・枚	368		
アルミ矢板基本料 H=2.0m		枚	46		
諸雑費		式	1		
計					

T O 1 9 7		仮設材質料 (アルミ矢板)		第 22号表	
		H=2.5m 48枚×15日=720・枚			
金	円	1 式 当り			
積 算 項 目		単位	数 量	単 価	金 額
アルミ矢板賃料 H=2.5m		日・枚	720		
アルミ矢板基本料 H=2.5m		枚	48		
諸雑費		式	1		
計					

T O O 9 5		腹起材・切梁材 設置撤去工(軽量金属)		第 23号表		(労務費補正表参照)
金 円 100 m 当り		1段				
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
諸雑費	式	1				
計						
単価	m					

T O I O O		腹起材・切梁材 設置撤去工(軽量金属) 2段				第 24号表	(労務費補正表参照)
金	円	100 m 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
土木一般世話役		人					
特殊作業員		人					
普通作業員		人					
諸雑費		式	1				
計							
単価		m					

T O I O 5           腹起材・切梁材質料 1段 矢板長2.0m           第 25号表					
金 円 100 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
アルミ製腹起し材質料 80×115×4000	日・本	96			
水圧サポート質料 590-900	日・本	96			
水圧手動ポンプ質料	日・台	24			
諸雑費	式	1			
計					
単価	m				



T O 1 1 5					
腹起材・切梁材質料 2段 矢板長2.5m					
第 26号表					
金 円 100 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
アルミ製腹起し材質料 80×115×4000	日・本	184			
水圧サポート質料 590-900	日・本	184			
水圧手動ポンプ質料	日・台	23			
諸雑費	式	1			
計					
単価	m				

T O 1 2 7 腹起材・切梁材 基本料					
第 27号表					
金 円 1 式 当り 矢板長2.0m					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
アルミ製腹起し材基本料 80×115×4000	本	4			
水圧サポート基本料 590-900	本	4			
水圧手動ポンプ基本料	台	1			
諸雑費	式	1			
計					

T O 1 2 6					
腹起材・切梁材 基本料					
第 28号表					
金 円 1 式 当り 矢板長2.5m					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
アルミ製腹起し材基本料 80×115×4000	本	8			
水圧サポート基本料 590-900	本	8			
水圧手動ポンプ基本料	台	1			
諸雑費	式	1			
計					

M3029		水替工 φ50mm×2台		第 29号表		(労務費補正表参照)
金	円	1 式 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
潜水ポンプ運転 φ50mm 2台 作業時排水、発動発電機		日				T0140 第 30号表
ポンプ据付・撤去工 φ50mm		現場	17			T0145 第 31号表
計						

T O 1 4 0		潜水ポンプ運転 φ50mm 2台 作業時排水、発動発電機		第 30号表		(労務費補正表参照)
金 円		1 日 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員						1
		人				
普通作業員						1
		人				
工事中水中モータポンプ〔普通型（潜水ポンプ）〕 口径φ50mm全揚程5m						1
		時、日				換算損料（損料表13欄）
発動発電機〔ガソリンエンジン駆動〕 定格容量3kVA						1
		時、日				換算損料（損料表13欄）
諸雑費						
		%				
計						

T O 1 4 5		ポンプ据付・撤去工 φ 5 0 mm		第 3 1号表		(労務費補正表参照)
金	円	1 現場 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員		人				
計						

<div> <div>MOO02</div> <div>マンホール材料費 1号マンホール</div> <div>第 32号表</div> </div>					
<div> <div>金 円</div> <div>1 式 当り</div> </div>					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
1号組立マンホール 底版 φ1100*130	個	4			
1号組立マンホール 躯体 900	個	2			
1号組立マンホール 躯体 1200	個	1			
1号組立マンホール 躯体 1500	個	1			
1号組立マンホール 斜壁 450	個	3			
1号組立マンホール 斜壁 600	個	1			
調整リング φ600 100	組	4			
調整リング φ600 150	組	1			

M O O O 2					
第 32号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
調整金具 26 - 45	組	4			
削孔 (0, 1, 楕円) リブ φ200	個	7			
次世代型マンホール蓋 (藤枝市型) 車道用 T-25 市章・汚水 文字入り	組	4			3
転落防止はしご	個	1			
計					



M3033		底部工 基礎あり インパートあり		第 33号表		(労務費補正表参照)
金	円	1 箇所 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
底部工 組立1号マンホール 栗石 0.15m インパートなし		箇所	1			第 34号表
コンクリート		m3	0.15			SP 4号表
モルタル上塗り (配合1:2)		m2	0.74			M3034 第 35号表
計						

金 円 1 箇所 当り 底部工 組立1号マンホール 栗石 0.15m インパートなし						第 34号表	(労務費補正表参照)
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
割栗石 5-15cm		m3	0.2				
諸雑費		式	1				
計							

M3034		モルタル上塗り (配合1:2)				第 35号表	(労務費補正表参照)
金	円	1 m2 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
左官							
		人					
普通作業員							
		人					
モルタル練							
		m3	0.02			SP	5号表
諸雑費							
		式	1				
計							

T O 1 3 5		砂基礎 機械施工 (バックホウ投入)		第 36号表	
金 円 100 m3 当り		10m3未満 再生砂			
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
砂基礎工 機械施工 10m3未満 夜間作業あり	m3	100			
再生砂 (埋戻し用)	m3	126			
計					
単価	m3				

MOOO4					
取付管材料 φ150					
第 37号表					
金 円 1 式 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
指示ピン (ミニ表示盤つき) φ14.8 L=32.5		本	4		
硬質塩化ビニルキャップ (接着) φ150		個	4		見積単価
計					

管明示設置工  
下水道用表示テープ 150mm  
第 38号表 (労務費補正表参照)

金 円 100 m 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員	人				
各種表示テープ					設計者入力単価
	m	100			
諸雑費	式				
計					
単価	m				

管明示設置工 下水道用表示シート 150mm					
第 39号表 (労務費補正表参照)					
金 円 100 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員	人				
各種表示テープ	m	100			設計者入力単価
諸雑費	式				
計					
単価	m				

M3116		アスファルトカッター汚泥処分工				第 40号表
金	円	1 式 当り				
積 算 項 目		単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
トラック運搬 (D1D区間あり) 運搬距離: 27.6 km以下		台	1			第 41号表
アスファルトカッター汚泥処分費 マーセリサイクル(株)麻機工場 静岡市葵区北2242-129		m3	1.8			
計						



トラック運搬 (DID区間あり)  
運搬距離: 27.6 km以下

第 41号表

トラック運搬（D I D区間あり） 運搬距離：27.6 km以下						第 41号表
金	円	1 台 当り				
積 算 項 目		単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
トラック運転 2 t 積		時間				
諸 雑 費						
		式	1			
計						

T O 1 4 7		アスファルト殻運搬・処分 現場から仮置き場 舗装版厚150mm超		第 4 2号表		(労務費補正表参照)
金 円 10 m 3 当り						
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
殻運搬		m 3	10			SP 10号表
計						
単価		m 3				

T O 1 4 8					
金 円 10 m3 当り					
積 算 項 目		単位	数 量	単 価	金 額
摘 要					
殻運搬		m3	10		SP 11号表
アスファルト殻処分費 セイエン商事(株) 藤枝市稲川891-2		m3	10		
計					
単価		m3			

T O 1 4 9		アスファルト殻運搬・処分 現場から仮置き場 舗装版厚150mm以下				第 44号表	(労務費補正表参照)
金	円	10 m3 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
殻運搬		m3	10			SP 12号表	
計							
単価		m3					

T O I S O <div>             アスファルト殻運搬・処分              仮置き場から処分場 舗装版厚150mm以下           </div> 第 45号表					
金	円	10 m3 当り			
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
殻運搬	m3	10			SP 13号表
アスファルト殻処分費 セイエン商事(株) 藤枝市稲川891-2	m3	10			
計					
単価	m3				

区画線設置〔熔融式手動〕 実線 15cm 塗布厚1.5mm 白					
第 46号表					
金 円 1000 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
区画線工（区画線設置工〔熔融式（手動）〕） 夜間単価 供用区間 実線 15cm 時間的制約 無 機・労	m	1,000			1 標準単価（基本額）〔合計金額対象外〕
〔補正係数：週休2日補正〕	X				
補正後標準単価	m	1,000			
路面表示用塗料 3種1号 JIS K 5665 熔融 ガラスビーズ含有量15-18% 白 比重2.0	k g	570			2
道路用塗料 ガラスビーズ JIS R3301 0.106-0.850mm	k g	25			2
接着用プライマー 区画線用 色 - 比重0.9	k g	25			2
軽油 パトロール給油	l	40			2
諸雑費	%				

第 46号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
計 (合計金額対象外は除く)					
単価	m				

交通誘導警備員

第 47号表

(労務費補正表参照)

金 円 1 式 当り						
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
交通誘導警備員A		人	63			21日、3人
計						



MO005 運搬費					
第 48号表					
金 円 1 式 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
仮設材等の運搬費（往路） 12m以内 L=2km, G=1.179t	式	1			
仮設材等の運搬費（復路） 12m以内 L=2km, G=1.179t	式	1			
仮設材等の積み込み・取卸し費 現場搬入質量=1.179t, 現場搬出質量=1.179t	式	1			
計					

MOOO1

六価クロム溶出試験費

第 49号表

金	円	1 式 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
六価クロム溶出試験 環境庁告示46号溶出試験		件	1			
計						

# 施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

名 称	内 容	
タンバ締固め	タンバ締固め＝タンバ締固め (労務費補正表参照)	SP 1号表
積込 (ルーズ)	土質＝土砂, 作業内容＝平均施工幅 1 m以上 2 m未満 ＊土砂の種類＝土砂 (レキ質土)	SP 2号表
コンクリート削孔 (コンクリート穿孔機)	削孔径＝ 1 8 0 m m以上 2 0 0 m m以下, 削孔深さ＝ 5 0 m m以上 2 0 0 m m未満 (労務費補正表参照)	SP 3号表
コンクリート	構造物種別＝無筋・鉄筋構造物, 打設工法＝人力打設, コンクリート規格＝コンクリート規格 選択, 養生工の種類＝一般養生, 現場内小運搬の有無＝無し &コンクリート規格＝ 1 8 - 8 - 2 5 ( 2 0 ) - B B (労務費補正表参照)	SP 4号表
モルタル練	セメント種類＝セメント規格 選択 &セメント規格＝普通セメント 2 5 k g 袋入り (労務費補正表参照)	SP 5号表
舗装版切断	舗装版種別＝アスファルト舗装版, アスファルト舗装版厚＝ 1 5 c mを超え 3 0 c m以下 (労務費補正表参照)	SP 6号表
舗装版切断	舗装版種別＝アスファルト舗装版, アスファルト舗装版厚＝ 1 5 c m以下 (労務費補正表参照)	SP 7号表
舗装版破砕	舗装版種別＝アスファルト舗装版, 障害等の有無＝無し, 騒音振動対策＝不要, 舗装版厚＝ 1 5 c mを超え 4 0 c m以下, 積込作業の有無＝有り	SP 8号表

# 施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

名 称	内 容	
舗装版破碎	(労務費補正表参照)	SP 8号表
舗装版破碎	舗装版種別＝アスファルト舗装版，障害等の有無＝無し，騒音振動対策＝不要，舗装版厚＝15cm以下，積込作業の有無＝有り (労務費補正表参照)	SP 9号表
殻運搬	殻発生作業＝舗装版破碎，積込工法区分＝機械積込（騒音対策不要，舗装版厚15cm超）又は（騒音対策必要），DID区間の有無＝有り，運搬距離（km）＝1.0km以下 (労務費補正表参照)	SP 10号表
殻運搬	殻発生作業＝舗装版破碎，積込工法区分＝機械積込（騒音対策不要，舗装版厚15cm超）又は（騒音対策必要），DID区間の有無＝有り，運搬距離（km）＝3.0km以下	SP 11号表
殻運搬	殻発生作業＝舗装版破碎，積込工法区分＝機械積込（騒音対策不要，舗装版厚15cm以下），DID区間の有無＝有り，運搬距離（km）＝1.5km以下 (労務費補正表参照)	SP 12号表
殻運搬	殻発生作業＝舗装版破碎，積込工法区分＝機械積込（騒音対策不要，舗装版厚15cm以下），DID区間の有無＝有り，運搬距離（km）＝3.5km以下	SP 13号表
掘削	土質＝土砂，施工方法＝上記以外（小規模），施工数量＝標準 ＊土砂の種類＝土砂（レキ質土） (労務費補正表参照)	SP 14号表
上層路盤（車道・路肩部）	材料＝粒度調整碎石 選択，施工区分＝1層施工 ＊全仕上り厚＝150mm，&路盤材規格＝粒度調整碎石（M-30） (労務費補正表参照)	SP 15号表

# 施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

名 称	内 容	
上層路盤（歩道部）	施工区分＝１層施工，材料＝路盤材 選択 ＊全仕上り厚＝１００mm，&路盤材（各種） （労務費補正表参照）	SP 16号表
基層（車道・路肩部）	平均幅員＝１．４m以上３．０m以下，材料＝粗粒度アスコン 選択，瀝青材料種類＝プライムコート 選択 &アスコン規格＝再生粗粒度アスコン（２０） B配合，＊１層当り平均仕上り厚＝５０mm，&瀝青材料規格＝プライムコート PK-3，▽アスファルト夜間割増（必要時選択）＝夜間割増あり （労務費補正表参照）	SP 17号表
表層（車道・路肩部）	平均幅員＝１．４m以上３．０m以下，材料＝密粒度アスコン 選択，瀝青材料種類＝タックコート 選択 &アスコン規格＝密粒度アスコン（２０） 改質Ⅰ型 B配合，＊１層当り平均仕上り厚＝５０mm，&瀝青材料規格＝タックコ ート 高性能改質アスファルト乳剤，▽アスファルト夜間割増（必要時選択）＝夜間割増あり （労務費補正表参照）	SP 18号表
表層（歩道部）	平均幅員＝１．４m未満（１層当り平均仕上り厚５０mm以下），材料＝細粒度アスコン 選択，瀝青材料種類＝プライムコート 選択 &アスコン規格＝再生細粒度アスコン（１３） A配合，＊１層当り平均仕上り厚＝３０mm，&瀝青材料規格＝プライムコート PK-3，▽アスファルト夜間割増（必要時選択）＝夜間割増あり （労務費補正表参照）	SP 19号表
不陸整正	補足材料の有無＝有り，補足材料平均厚さ＝２９mm以上３４mm未満，補足材料＝補足材 選択 &補足材料規格＝粒度調整碎石 M-30 （労務費補正表参照）	SP 20号表
表層（車道・路肩部）	平均幅員＝１．４m未満（１層当り平均仕上り厚５０mm以下），材料＝密粒度アスコン 選択，瀝青材料種類＝無し &アスコン規格＝再生密粒度アスコン（１３） A配合，＊１層当り平均仕上り厚＝４０mm，▽アスファルト夜間割増（必要時	SP 21号表

## 施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

名 称	内 容	
表層（車道・路肩部）	選択）＝夜間割増あり （労務費補正表参照）	SP 21号表

労 務 費 補 正 表										労補		1 号表					
週休 2 日補正率（労務費）																	
工種・種別		交替数		1. 0		1. 5		1+0. 25 $\alpha$		1. 25 $\alpha$		1. 50 $\alpha$		総作業		時間制約有無	
機械掘削工（バックホウ）		交替1				8時間 0分						8時間 0分					
作業時間		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了					
交替1		21:00 - 5:00															
名 称				補正前単価	補正後単価	構成比	名 称							補正前単価	補正後単価	構成比	
普通作業員																	
運転手（特殊）																	
土木一般世話役																	

労 務 費 補 正 表									
労補 2号表									
週休2日補正率（労務費）									
工種・種別		交替数		1.0	1.5	1+0.25 $\alpha$	1.25 $\alpha$	1.50 $\alpha$	総作業 時間制約有無
埋戻工0.20m3級バックホウ投入		交替1		8時間 0分				8時間 0分	
作業時間		開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了
交替1		21:00 - 5:00							
名 称		補正前単価	補正後単価	構成比	名 称		補正前単価	補正後単価	構成比
特殊作業員									
普通作業員									
運転手（特殊）									
土木一般世話役									



労 務 費 補 正 表										労補		3号表					
										週休2日補正率（労務費）							
工種・種別		交替数		1.0		1.5		1+0.25 $\alpha$		1.25 $\alpha$		1.50 $\alpha$		総作業		時間制約有無	
残土運搬・処分工（0.20m3級バックホウ）		交替1				8時間 0分						8時間 0分					
作業時間		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了					
交替1		21:00 - 5:00															
名 称				補正前単価	補正後単価	構成比	名 称				補正前単価	補正後単価	構成比				
運転手（一般）																	

労 務 費 補 正 表										労補		4 号表					
週休 2 日補正率（労務費）																	
工種・種別		交替数		1. 0		1. 5		1+0. 25 $\alpha$		1. 25 $\alpha$		1. 50 $\alpha$		総作業		時間制約有無	
埋設標識テープ設置工		交替1				8時間 0分								8時間 0分			
作業時間		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了					
交替1		21:00- 5:00															
名 称				補正前単価	補正後単価	構成比	名 称							補正前単価	補正後単価	構成比	
普通作業員																	

労 務 費 補 正 表

労補 5号表

週休2日補正率（労務費）

工種・種別		交替数		1.0	1.5	1+0.25 $\alpha$	1.25 $\alpha$	1.50 $\alpha$	総作業	時間制約有無			
埋設標識シート設置工		交替1				8時間	0分			8時間	0分		
作業時間		開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了		
交替1		21:00 - 5:00											
名 称				補正前単価	補正後単価	構成比	名 称				補正前単価	補正後単価	構成比
普通作業員													

労 務 費 補 正 表

労補 6号表

週休2日補正率（労務費）

工種・種別		交替数		1.0		1.5		1+0.25 $\alpha$		1.25 $\alpha$		1.50 $\alpha$		総作業		時間制約有無	
コンクリート削孔（コンクリート穿孔機）		交替1				8時間 0分								8時間 0分			
作業時間		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了					
交替1		21:00 - 5:00															
名 称				補正前単価	補正後単価	構成比	名 称				補正前単価	補正後単価	構成比				
特殊作業員																	
普通作業員																	
土木一般世話役																	

労 務 費 補 正 表

労補 7号表

週休2日補正率（労務費）

工種・種別		交替数		1. 0		1. 5		1+0. 25 $\alpha$		1. 25 $\alpha$		1. 50 $\alpha$		総作業		時間制約有無	
アルミ矢板建込・引抜工（両側分）0. 20m3級バックホウ		交替1				8時間 0分								8時間 0分			
作業時間		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了					
交替1		21:00 - 5:00															
名 称				補正前単価	補正後単価	構成比	名 称				補正前単価	補正後単価	構成比				
特殊作業員																	
普通作業員																	
運転手（特殊）																	
土木一般世話役																	

労 務 費 補 正 表								労補	8号表
週休2日補正率（労務費）									
工種・種別		交替数	1.0	1.5	1+0.25 $\alpha$	1.25 $\alpha$	1.50 $\alpha$	総作業	時間制約有無
アルミ矢板建込・引抜工（両側分）0.20m3級バックホウ		交替1		8時間 0分				8時間 0分	
作業時間		開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了
交替1		21:00 - 5:00							
名 称		補正前単価	補正後単価	構成比	名 称		補正前単価	補正後単価	構成比
特殊作業員									
普通作業員									
運転手（特殊）									
土木一般世話役									

労 務 費 補 正 表

労補 9号表

週休2日補正率（労務費）

工種・種別		交替数		1. 0		1. 5		1+0. 25 $\alpha$		1. 25 $\alpha$		1. 50 $\alpha$		総作業		時間制約有無	
腹起材・切梁材 設置撤去工（軽量金属）		交替1		8時間		0分								8時間		0分	
作業時間		開始		終了		開始		終了		開始		終了		開始		終了	
交替1		21:00		5:00													
名 称				補正前単価	補正後単価	構成比	名 称				補正前単価	補正後単価	構成比				
特殊作業員																	
普通作業員																	
土木一般世話役																	

労 務 費 補 正 表

労補 10号表

週休2日補正率（労務費）

工種・種別		交替数		1. 0		1. 5		1+0. 25 $\alpha$		1. 25 $\alpha$		1. 50 $\alpha$		総作業		時間制約有無	
腹起材・切梁材 設置撤去工（軽量金属）		交替1				8時間 0分								8時間 0分			
作業時間		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了					
交替1		21:00 - 5:00															
名 称				補正前単価	補正後単価	構成比	名 称				補正前単価	補正後単価	構成比				
特殊作業員																	
普通作業員																	
土木一般世話役																	



労 務 費 補 正 表

労補 1 1 号表

週休 2 日補正率（労務費）

工種・種別		交替数		1. 0	1. 5	1+0. 25 $\alpha$	1. 25 $\alpha$	1. 50 $\alpha$	総作業	時間制約有無			
水替工		交替1		8時間 0分				8時間 0分					
作業時間	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了			
交替1	21:00 - 5:00												
名 称				補正前単価	補正後単価	構成比	名 称				補正前単価	補正後単価	構成比
特殊作業員													
普通作業員													

労 務 費 補 正 表										労補 1 2 号表							
										週休 2 日補正率（労務費）							
工種・種別		交替数		1. 0		1. 5		1+0. 25 $\alpha$		1. 25 $\alpha$		1. 50 $\alpha$		総作業		時間制約有無	
底部工		交替1				8時間 0分						8時間 0分					
作業時間		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了					
交替1		21:00- 5:00															
名 称				補正前単価	補正後単価	構成比	名 称							補正前単価	補正後単価	構成比	
特殊作業員																	
普通作業員																	
土木一般世話役																	
左官																	

労 務 費 補 正 表

労補 13号表

週休2日補正率（労務費）

工種・種別		交替数		1. 0	1. 5	1+0. 25 $\alpha$	1. 25 $\alpha$	1. 50 $\alpha$	総作業	時間制約有無			
機械掘削工（バックホウ）		交替1		8時間 0分				8時間 0分					
作業時間	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了			
交替1	21:00 - 5:00												
名 称				補正前単価	補正後単価	構成比	名 称				補正前単価	補正後単価	構成比
普通作業員													
運転手（特殊）													
土木一般世話役													

労 務 費 補 正 表

労補 1 4 号表

週休 2 日補正率（労務費）

工種・種別		交替数	1. 0	1. 5	1+0. 25 $\alpha$	1. 25 $\alpha$	1. 50 $\alpha$	総作業	時間制約有無
埋戻工 0. 20m3 級バックホウ投入		交替1		8時間 0分				8時間 0分	
作業時間	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了		
交替1	21:00 - 5:00								
名 称		補正前単価	補正後単価	構成比	名 称		補正前単価	補正後単価	構成比
特殊作業員									
普通作業員									
運転手（特殊）									
土木一般世話役									

労 務 費 補 正 表

労補 1 5 号表

週休 2 日補正率（労務費）

工種・種別		交替数	1. 0	1. 5	1+0. 25 $\alpha$	1. 25 $\alpha$	1. 50 $\alpha$	総作業	時間制約有無
残土運搬・処分工（0. 20m3級バックホウ）		交替1		8時間 0分				8時間 0分	
作業時間	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了		
交替1	21:00 - 5:00								
名 称		補正前単価	補正後単価	構成比	名 称		補正前単価	補正後単価	構成比
運転手（一般）									

労 務 費 補 正 表

労補 1 6 号表

週休 2 日補正率（労務費）

工種・種別		交替数	1. 0	1. 5	1+0. 25 $\alpha$	1. 25 $\alpha$	1. 50 $\alpha$	総作業	時間制約有無
管明示設置工		交替1		8時間 0分				8時間 0分	
作業時間	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了		
交替1	21:00 - 5:00								
名 称		補正前単価	補正後単価	構成比	名 称		補正前単価	補正後単価	構成比
普通作業員									

労 務 費 補 正 表

労補 1 7 号表

週休 2 日補正率（労務費）

工種・種別		交替数		1. 0	1. 5	1+0. 25 $\alpha$	1. 25 $\alpha$	1. 50 $\alpha$	総作業	時間制約有無			
管明示設置工		交替1		8時間 0分				8時間 0分					
作業時間	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了			
交替1	21:00 - 5:00												
名 称				補正前単価	補正後単価	構成比	名 称				補正前単価	補正後単価	構成比
普通作業員													

労 務 費 補 正 表

労補 1 8 号表

週休 2 日補正率（労務費）

工種・種別		交替数		1. 0	1. 5	1+0. 25 $\alpha$	1. 25 $\alpha$	1. 50 $\alpha$	総作業	時間制約有無			
舗装版切断		交替1		8時間 0分				8時間 0分					
作業時間	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了			
交替1	21:00 - 5:00												
名 称				補正前単価	補正後単価	構成比	名 称				補正前単価	補正後単価	構成比
特殊作業員													
普通作業員													
土木一般世話役													



労 務 費 補 正 表

労補 19号表

週休2日補正率（労務費）

工種・種別		交替数		1. 0	1. 5	1+0. 25 $\alpha$	1. 25 $\alpha$	1. 50 $\alpha$	総作業	時間制約有無			
舗装版切断		交替1		8時間 0分				8時間 0分					
作業時間	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了			
交替1	21:00 - 5:00												
名 称				補正前単価	補正後単価	構成比	名 称				補正前単価	補正後単価	構成比
特殊作業員													
普通作業員													
土木一般世話役													

労 務 費 補 正 表									
週休2日補正率（労務費）									
工種・種別		交替数		1.0	1.5	1+0.25 $\alpha$	1.25 $\alpha$	1.50 $\alpha$	総作業 時間制約有無
舗装版破碎		交替1		8時間 0分				8時間 0分	
作業時間		開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了
交替1		21:00 - 5:00							
名 称		補正前単価	補正後単価	構成比	名 称		補正前単価	補正後単価	構成比
普通作業員									
運転手（特殊）									
土木一般世話役									

労 務 費 補 正 表

労補 2 1 号表

週休 2 日補正率（労務費）

工種・種別		交替数	1. 0	1. 5	1+0. 25 $\alpha$	1. 25 $\alpha$	1. 50 $\alpha$	総作業	時間制約有無
舗装版破碎		交替1		8時間 0分				8時間 0分	
作業時間	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了		
交替1	21:00 - 5:00								
名 称		補正前単価	補正後単価	構成比	名 称		補正前単価	補正後単価	構成比
普通作業員									
運転手 (特殊)									
土木一般世話役									

労 務 費 補 正 表

労補 2 2 号表

週休 2 日補正率（労務費）

工種・種別		交替数	1. 0	1. 5	1+0. 25 $\alpha$	1. 25 $\alpha$	1. 50 $\alpha$	総作業	時間制約有無
アスファルト設運搬・処分		交替1		8時間 0分				8時間 0分	
作業時間	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了		
交替1	21:00 - 5:00								
名 称		補正前単価	補正後単価	構成比	名 称		補正前単価	補正後単価	構成比
運転手（一般）									

労 務 費 補 正 表

労補 23号表

週休2日補正率（労務費）

工種・種別		交替数		1. 0		1. 5		1+0. 25 $\alpha$		1. 25 $\alpha$		1. 50 $\alpha$		総作業		時間制約有無	
アスファルト設運搬・処分		交替1				8時間 0分								8時間 0分			
作業時間		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了					
交替1		21:00 - 5:00															
名 称				補正前単価	補正後単価	構成比	名 称				補正前単価	補正後単価	構成比				
運転手（一般）																	

労 務 費 補 正 表

労補 2 4 号表

週休 2 日補正率（労務費）

工種・種別		交替数	1. 0	1. 5	1+0. 25 $\alpha$	1. 25 $\alpha$	1. 50 $\alpha$	総作業	時間制約有無
掘削		交替1		8時間 0分				8時間 0分	
作業時間	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了		
交替1	21:00 - 5:00								
名 称		補正前単価	補正後単価	構成比	名 称		補正前単価	補正後単価	構成比
運転手（特殊）									

労 務 費 補 正 表

労補 25号表

週休2日補正率（労務費）

工種・種別		交替数		1. 0		1. 5		1+0. 25 $\alpha$		1. 25 $\alpha$		1. 50 $\alpha$		総作業		時間制約有無	
残土運搬・処分工（0. 20m3級バックホウ）		交替1				8時間 0分								8時間 0分			
作業時間		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了					
交替1		21:00 - 5:00															
名 称				補正前単価	補正後単価	構成比	名 称				補正前単価	補正後単価	構成比				
運転手（一般）																	

労 務 費 補 正 表

労補 26号表

週休2日補正率（労務費）

工種・種別		交替数		1. 0	1. 5	1+0. 25 $\alpha$	1. 25 $\alpha$	1. 50 $\alpha$	総作業	時間制約有無			
上層路盤（車道・路肩部）		交替1		8時間 0分				8時間 0分					
作業時間	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了			
交替1	21:00 - 5:00												
名 称				補正前単価	補正後単価	構成比	名 称				補正前単価	補正後単価	構成比
特殊作業員													
普通作業員													
運転手（特殊）													
土木一般世話役													



労 務 費 補 正 表

労補 27号表

週休2日補正率（労務費）

工種・種別		交替数		1. 0		1. 5		1+0. 25 $\alpha$		1. 25 $\alpha$		1. 50 $\alpha$		総作業		時間制約有無	
上層路盤（歩道部）		交替1				8時間 0分								8時間 0分			
作業時間		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了					
交替1		21:00 - 5:00															
								</									

労 務 費 補 正 表

労補 28号表

週休2日補正率（労務費）

工種・種別		交替数		1. 0	1. 5	1+0. 25 $\alpha$	1. 25 $\alpha$	1. 50 $\alpha$	総作業	時間制約有無			
基層（車道・路肩部）		交替1		8時間 0分				8時間 0分					
作業時間	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了			
交替1	21:00 - 5:00												
名 称				補正前単価	補正後単価	構成比	名 称				補正前単価	補正後単価	構成比
特殊作業員													
普通作業員													
運転手（特殊）													
土木一般世話役													

労 務 費 補 正 表

労補 29号表

週休2日補正率（労務費）

工種・種別		交替数		1. 0	1. 5	1+0. 25 $\alpha$	1. 25 $\alpha$	1. 50 $\alpha$	総作業	時間制約有無			
表層（車道・路肩部）		交替1		8時間 0分				8時間 0分					
作業時間	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了			
交替1	21:00 - 5:00												
名 称				補正前単価	補正後単価	構成比	名 称				補正前単価	補正後単価	構成比
特殊作業員													
普通作業員													
運転手（特殊）													
土木一般世話役													

労 務 費 補 正 表										労補 3 0 号表							
										週休 2 日補正率（労務費）							
工種・種別		交替数		1. 0		1. 5		1+0. 25 $\alpha$		1. 25 $\alpha$		1. 50 $\alpha$		総作業		時間制約有無	
表層（歩道部）		交替1				8時間 0分						8時間 0分					
作業時間		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了					
交替1		21:00- 5:00															
名 称				補正前単価	補正後単価	構成比	名 称							補正前単価	補正後単価	構成比	
特殊作業員																	
普通作業員																	
土木一般世話役																	

労 務 費 補 正 表

労補 3 1 号表

週休 2 日補正率（労務費）

工種・種別		交替数	1. 0	1. 5	1+0. 25 $\alpha$	1. 25 $\alpha$	1. 50 $\alpha$	総作業	時間制約有無
不陸整正		交替1		8時間 0分				8時間 0分	
作業時間	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了		
交替1	21:00 - 5:00								
名 称		補正前単価	補正後単価	構成比	名 称		補正前単価	補正後単価	構成比
特殊作業員									
普通作業員									
運転手（特殊）									
土木一般世話役									

労 務 費 補 正 表

労補 3 2 号表

週休 2 日補正率（労務費）

工種・種別		交替数	1. 0	1. 5	1+0. 25 $\alpha$	1. 25 $\alpha$	1. 50 $\alpha$	総作業	時間制約有無
表層		交替1		8時間 0分				8時間 0分	
作業時間	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了		
交替1	21:00 - 5:00								
名 称		補正前単価	補正後単価	構成比	名 称		補正前単価	補正後単価	構成比
特殊作業員									
普通作業員									
土木一般世話役									

労 務 費 補 正 表

労補 33号表

週休2日補正率（労務費）

工種・種別		交替数		1.0	1.5	1+0.25 $\alpha$	1.25 $\alpha$	1.50 $\alpha$	総作業	時間制約有無			
交通誘導警備員		交替1		8時間		0分		8時間		0分			
作業時間	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了			
交替1	21:00 - 5:00												
名 称				補正前単価	補正後単価	構成比	名 称				補正前単価	補正後単価	構成比
交通誘導警備員A													

# 数量調整表

令和7年度（社総）県道島田岡部線下水道築造第3工区工事

名称	種別		計算式	設計数量
管きょ工			管路延長（車道）	93.20 m
管路土工				
	管路掘削		163.32 舗装分控除 93.20 × 0.95 × 0.20 = 17.71	145.6 150 m³
	管路埋戻（購入土）		埋戻 A 17.71 + 埋戻 B 108.97 = 126.68 仮舗装分控除 93.20 × 0.95 × 0.04 = 3.54	123.1 120 m³
	発生土処理		145.61 = 145.61	145.6 150 m³
管布設工				
	77付硬質塩化ビニル管	φ200	90.05	90.05 90.1 m
	管材料		別紙参照	別紙参照
	埋設標識テープ	（夜間）	90.1	90.1 90.1 m
	埋設標識シート	（夜間）	90.1	90.1 90.1 m
	マンホール削孔		1	1 1 個
管基礎工				
	砕石基礎		砕石基礎 A 8.55 + 砕石基礎 B 24.40 = 32.95	33.0 33 m³
管路土留工				
	アルミ矢板建込引抜き	H=2.0(1段)	（夜間） 30.00	30.0 30.0 m
	アルミ矢板建込引抜き	H=2.5(2段)	（夜間） 63.20	63.2 63.0 m
	仮設材質料(アルミ矢板)	H=2.0(1段)	1	1 1.0 式
	仮設材質料(アルミ矢板)	H=2.5(2段)	1	1 1.0 式
	腹起材・切梁設置撤去	1段	（夜間） 30.00	30.0 30.0 m
	腹起材・切梁設置撤去	2段	（夜間） 63.20	63.2 63.0 m
	腹起材・切梁賃料	H=2.0(1段)	30.00	30.0 30.0 m
	腹起材・切梁賃料	H=2.5(2段)	63.20	63.2 63.0 m
	腹起材・切梁材質料 基本料		1	1 1 式
開削水替工				
	水替工		別紙参照	別紙参照



名称	種別		計算式	設計数量
マンホール工	組立マンホール工			
	組立 1 号マンホール		4	4 箇所
	マンホール材料		別紙参照	別紙参照
	底部工	インバート有	4	4 箇所
取付管	管路土工			
	管路掘削		14.35 舗装分控除 10.24 × 0.82 × 0.04 = 0.34 (歩道)	14.0 10 m³
	管路埋戻		埋戻 A 2.61 + 埋戻 B 7.46 = 10.07 仮舗装分控除 10.24 × 0.82 × 0.04 = 0.34 (歩道)	9.7 10 m³
	発生土処理		14.0	14.0 10 m³
	管基礎工			
	砂基礎		砂基礎 B 2.80	2.8 3.0 m³
	取付管布設工			
	取付管		4	4 箇所
	材料費		別紙参照	別紙参照
	埋設標識テープ	(夜間)	18.7	18.7 m
	埋設標識シート	(夜間)	18.7	18.7 m

名称			種別		計算式								設計数量	
付帯工	舗装撤去工													
	舗装版切断 車道部	t=150以上 t=(200)	本管布設	93.20	×	2	+	0.95	×	2	=	188.30		
			舗装復旧	93.20	×	2	+	1.75	×	2	=	189.90	378.2	378 m
	舗装版切断 歩道部	t=150以下 t=(100)	取付管布設		2.56	×	2.00	×	4		=	20.48		
			舗装復旧		2.56	×	2.00	×	4		=	20.48	40.96	41 m
	A S カッター汚泥処分		車道	0.023	(定数)×	0.2	×	378.20		=	1.74			
			歩道	0.023	(定数)×	0.1	×	40.96		=	0.094	1.83	1.8 m <sup>3</sup>	
	舗装版破碎	t=200	既設舗装	本管			93.20	×	0.95	=	88.5			
		車道		本管影響幅			93.20	×	0.8	=	74.6	163.1	163 m <sup>2</sup>	
		t=100	既設舗装	取付管	2.56	×	0.82	×	4	=	8.40			
		歩道		取付管影響幅	2.56	×	0.5	×	4	=	5.12	13.5		
		t=40	仮舗装			(t=40)	96.9					96.9	110 m <sup>2</sup>	
	殻運搬処理	(t=200) 車道	既設舗装	163.1	×	0.2	=	32.6				32.6	33 m <sup>3</sup>	
		(t=100) 歩道		13.5	×	0.1	=	1.4						
		t=40	仮舗装	96.9	×	0.04	=	3.9				5.23	5 m <sup>3</sup>	

名称				種別	計算式										設計数量	
舗装復旧工	路盤掘削	本管	車道部	93.20	×	0.95	×	0.21	=	18.59						
			影響幅	93.20	×	0.80	×	0.05	=	3.73						
			取付管 (4本分)	歩道部	2.56	×	0.82	×	0.09	×			4.00	=	0.76	
				歩道部影響幅	2.56	×	0.50	×	0.03	×			4.00	=	0.15	
		発生土処理			23.2								23.2	20 m <sup>3</sup>		
		上層路盤 M-30 t=150	本管	車道部	93.20	×	0.95	=	88.54							
				車道部影響幅	93.20	×	0.8	=	74.56							
		上層路盤 RC-40 t=100	取付管	歩道部	2.56	×	0.82	×	4=	8.40						
				歩道部影響幅	2.56	×	0.5	×	4=	5.12						
		基層 t=50	本管	車道部	93.20	×	0.95	=	88.54							
	車道部影響幅			93.20	×	0.8	=	74.56								
	表層 t=50	本管	車道部	93.20	×	0.95	=	88.5								
			車道部影響幅	93.20	×	0.8	=	74.6								
	表層 t=30	取付管	歩道部	2.56	×	0.82	×	4=	8.4							
歩道部影響幅			2.56	×	0.5	×	4=	5.1								
不陸整正			176.6 - 96.94 = 79.7								79.68	80.00 m <sup>2</sup>				
舗装仮復旧																
	仮舗装 t=40	本管	93.20 × 0.95 = 88.54													
		取付管	2.56 × 0.82 × 4= 8.40													
区画線工																
	区画線（実線）	W15cm	93.2								93.2	93 m				

※ この組み合わせは標準であり他の組合せも可とする。(底版付きの躯体も可)ステップはステンレス被覆

マ番	マル	流出管
		地盤高

[illegible]

### 管材料計算表

\*リブ管の可撓継手は、受口変換継手等を利用し塩ビ管用の使用も可とする。

					塩ビ管					リブ管							
記号	距離	人孔	管延長	管種別	管種別	マンホール継手			プレセント	ゴム輪受口	管種別	マンホール継手			ゴム輪挿口	備考	
		管延長				副管用	可撓継手		直管	片受直管		管延長	副管用	可撓継手			片受リブ直管
							貼付	拡張						貼付	拡張		
		控除長															
M2135-40-1-1～M2135-40-1-2	30.00	0.90	29.10								29.10			2	7.3		
M2135-40-1-2～M2135-40-1-3	28.00	0.90	27.10								27.10			2	6.8		
M2135-40-1-3～M2135-40-3-1	27.00	0.90	26.10								26.10			2	6.5		
M2135-40-3-1～（既設）M2135-40-1	8.20	0.45	7.75								7.75		1	1	1.9		
（既設）M2135-40-1～																	

数量表(管材料)

管材料（本 管）		
リブ片受直管ゴム輪差口 $\phi$ 2 0 0	23	本
マンホール用可撓継手（拡張ハントタイプ） $\phi$ 2 0 0	7	個
マンホール用可撓継手（貼付タイプ） $\phi$ 2 0 0	1.0	個
下水道埋設表示シート	90.1	m
下水道用表示テープ	90.1	m
管材料（取付管）		
指示ピン	4	個
キャップ $\phi$ 1 5 0	4.0	個
下水道埋設表示シート	18.7	m
下水道用表示テープ	18.7	m

水替工				
11 日	φ 50mm× 2 台			
4 日	マンホール工	N=4基	1日/1基	
2 日	取付管	N=4箇所	1日/3箇所	
合計	17 日	(夜間)		
交通整理人				
日	人/日	人	(夜間)	
21 ×	3	=	63	
合計	63 人	(夜間)		

### 取付管数量表

[illegible]

掘削(残土)	m <sup>3</sup> /m		延長		
	0.77	×	18.64	=	14.35 m <sup>3</sup>
砂基礎(A)	0.06	×	18.64	=	1.12 m <sup>3</sup> (市場単価に含む)
砂基礎(B)	0.15	×	18.64	=	2.80 m <sup>3</sup>

埋戻し(A)	m <sup>3</sup> /m	延長		
	0.14	×	18.64	= 2.61 m <sup>3</sup>
埋戻し(B)	0.40	×	18.64	= 7.46 m <sup>3</sup>



# 土工計算書

管 種	呼 径	外 径	管下厚	管上厚	基礎総厚	埋戻A厚
塩ビ管	200	0.216	0.100	0.100	0.416	0.200
	250	0.267	0.100	0.100	0.467	0.200
リブ管	200	0.228	0.100	0.100	0.428	0.200
	250	0.286	0.150	0.100	0.536	0.200

種別	記 号	距 離	人孔 控除長	管延長	平均 掘削深	掘削下幅	勾配	掘 削	埋 戻 内 訳		砂基礎内訳		碎石基礎内訳		管控除	備 考
									埋戻A	埋戻B	砂基礎A	砂基礎B	碎石基礎A	碎石基礎B		
1	M2135-40-1-1～M2135-40-1-2	30.00	0.90	29.10	1.67	0.95	直	47.60	5.70	30.06			2.76	7.89	1.19	
1	M2135-40-1-2～M2135-40-1-3	28.00	0.90	27.10	1.85	0.95	直	49.21	5.32	32.87			2.57	7.34	1.11	
1	M2135-40-1-3～M2135-40-3-1	27.00	0.90	26.10	1.94	0.95	直	49.76	5.13	34.01			2.48	7.07	1.07	
1	M2135-40-3-1～（既設）M2135-40-1	8.20	0.45	7.75	2.15	0.95	直	16.75	1.56	12.03			0.74	2.10	0.32	
1	（既設）M2135-40-1～															

### 矢板数量計算表

平均掘削深

使用回数

	4		8			
--	---	--	---	--	--	--

アルミ矢板損料・運搬計算

工事名： 令和7年度(社総)県道島田岡部線下水道築造第3工区工事

矢板・支保工  
総重量 1.179 t

区間 M2135-40-1-1～M2135-40-1-2

施工延長	L= 30 m	日進量	L= 8 m/日	平均掘削深	h= 1.67 m	
矢板長さ	L= 2 m	矢板幅	W= 0.33 m/枚	矢板単位重量	W= 0.0056 kg/m	
支保工	N= 1 段	両側・片側	2 (両側:2、片側:1)			
換算施工日数	延長 日進量 D= 30 ÷ 8 = 4 日		使用日数	30 ÷ 7.5 × 1.8 = 8 日		
	延長 施工日数 L= 30 ÷ 4 = 7.5 m					
換算日進量						
矢板運搬重量	延長	矢板幅	矢板長さ	矢板単位重量	両側・片側	
	W= 7.5 ÷ 0.33	×	2.0 ×	0.006	×	2 = 0.509 t
矢板枚数	N= 7.5 ÷ 0.33				×	2 = 46 枚
100m当り換算計算 日進量(供用) 100 × 1.8 ÷ 7.5 = 24 日						
腹起材(H-115×80×4000)						
	日進量	腹起長さ(m/本)	両側・片側	段数		
N=	7.5 ÷	4 ×	2 ×	1 =	4 本	
	日数	本数				
賃料(日×本数) t=	24 ×	4		=	96 日・本	
切梁材(水圧サポート)						
	腹起本数	単位本数	両側矢板			
N=	4 ×	2 ÷	2 =	4 本		
	日数	本数				
賃料(日×本数) t=	24 ×	4		=	96 日・本	

※不稼働係数:1.8

区間 M2135-40-1-2～M2135-40-1

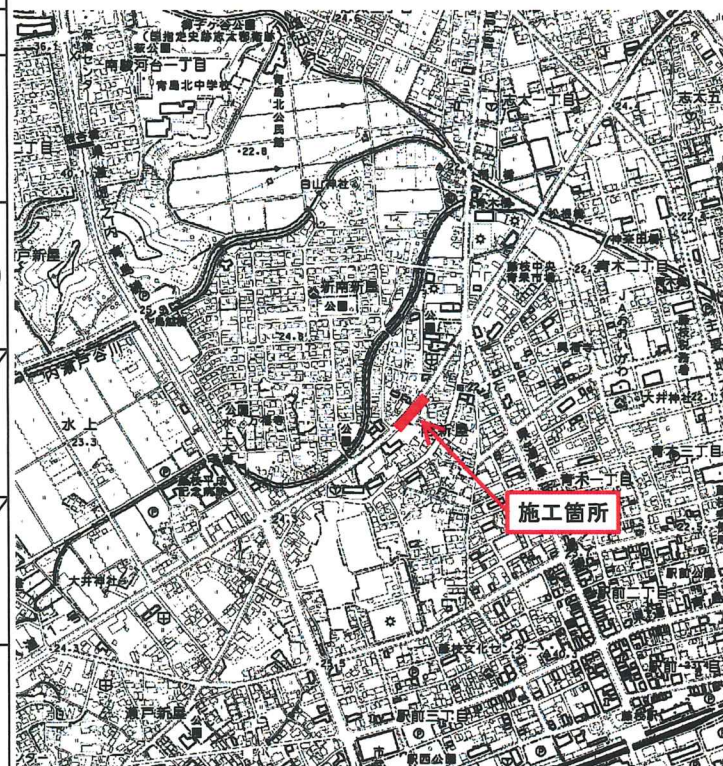
施工延長	L= 63.2 m	日進量	L= 8 m/日	平均掘削深	h= 1.93 m	
矢板長さ	L= 2.5 m	矢板幅	W= 0.33 m/枚	矢板単位重量	W= 0.0056 kg/m	
支保工	N= 2 段	両側・片側	2 (両側:2、片側:1)			
換算施工日数	延長 日進量 D= 63.2 ÷ 8 = 8 日		使用日数	63 ÷ 7.9 × 1.8 = 15 日		
	延長 施工日数 L= 63.2 ÷ 8 = 7.9 m					
換算日進量						
矢板運搬重量	延長	矢板幅	矢板長さ	矢板単位重量	両側・片側	
	W= 7.9 ÷ 0.33	×	2.5 ×	0.006	×	2 = 0.670 t
矢板枚数	N= 7.9 ÷ 0.33				×	2 = 48 枚
100m当り換算計算 日進量(供用) 100 × 1.8 ÷ 7.9 = 23 日						
腹起材(H-115×80×4000)						
	日進量	腹起長さ(m/本)	両側・片側	段数		
N=	7.9 ÷	4 ×	2 ×	2 =	8 本	
	日数	本数				
賃料(日×本数) t=	23 ×	8	= 184 日・本			
切梁材(水圧サポート)						
	腹起本数	単位本数	両側矢板			
N=	8 ×	2 ÷	2 =	8 本		
	日数	本数				
賃料(日×本数) t=	23 ×	8	= 184 日・本			

※不稼働係数:1.8

## 地 下 埋 設 物 調 査 書

( 令和7年度(社総)県道島田岡部線下水道築造第3工区工事 )

埋 設 物	埋 設 状 況			管 理 者	
	縦 方 向	横 方 向	特 殊 箇 所	市	管理側
水 道 管	D(A)φ75 ※要立会		給水管有	遠藤	上水道課
ガ ス 管	埋設管あり 要立会い			遠藤	東海ガス(株)
大井川 広域水道 企業団	事業管内図により埋設物がないことを確認した。			遠藤	
大井川 土地区 改良区	事業管内図により埋設物がないことを確認した。			遠藤	
N T T ケーブル	地下埋設物照会により埋設物がないことを確認した。			遠藤	(株)NDS
中部電力 ケーブル	地下埋設物照会により埋設物がないことを確認した。			遠藤	中部電力 パワーグリッド (株)
下 水 道 管					
情 報 ケー ブル	情報ケーブル有 施工前要協議			遠藤	静岡県島 田土木事 務所維持 管理課



## 藤枝市週休２日工事（土木工事）特記仕様書

### （目的）

第１条 本特記仕様書は、公共工事の品質確保並びにその担い手の中長期的な育成及び確保が重要な課題となっていることに鑑み、建設現場における休日確保型工事の実施に伴い必要となる経費を適切に計上することにより、週休２日の取得が可能な環境づくりを推進し、その労働環境の改善を目的とする。

### （用語の定義）

第２条 この要領において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 対象期間 工事着手日（準備期間を除く。）から工事完成日（後片付け期間を除く。）までの期間のことをいう。ただし、年末年始休暇（６日間）、夏季休暇（３日間）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている期間は含まない。
- (2) 休工日 対象期間において、現場事務所での事務作業を含め１日を通して現場や現場事務所が閉所された日（巡回パトロール・保守点検等、現場管理上必要な作業のみを行う場合は休工日に含む。）をいう。
- (3) 現場閉所率 対象期間における休工日の割合（休工日数／対象期間日数）を百分率で表示したものをいう。
- (4) 月単位の週休２日 対象期間の全ての月において、週休２日の状態をいう。  
ただし、土曜日、日曜日の日数の割合が２８．５％に満たない月においては、当該月の土曜日、日曜日の合計日数以上の現場閉所を行っている状態をいう。
- (5) 通期の週休２日 対象期間の現場閉所率が２８．５％以上の状態をいう。

### （費用の計上）

第３条 週休２日工事の費用計上は、対象期間中の現場の閉所状況に応じ、静岡県が定める「週休２日推進工事積算要領」の規定に準じ、補正係数を乗じて行うものとする。

### （実施方法）

第４条 週休２日工事の実施方法は、次のとおりとする。

- (1) 受注者は、現場着手日までに４週８休以上の休工日取得計画表を監督員に提出しこれに基づき施工を行う。
- (2) 受注者は、計画に変更が生じた場合には、その都度、変更した休工日取得計画表を監督員に提出する。
- (3) 監督員は、受注者に工事記録簿等の資料の提出を求め、休工日及び現場閉所率について確認を行う。なお、４週８休以上の休工日が確保できなかった場合には、静岡県週休２日推進工事（土木工事）実施要領の規定に準じ、現場閉所率に応じた費用計上

による減額変更契約を行うものとする。

(工期設定の条件)

第5条 設定された工期に見込まれている特記事項は、次のとおりとする。

- (1) 雨休率 休日と降雨降雪及び猛暑日数の年間の発生率をいう。この場合において、休日は、日曜日及び土曜日、祝日、年末年始休暇（6日）並びに夏季休暇（3日）とし、降雨降雪及び猛暑日数は地域ごとに算出が困難なため、「0.9」とする。

ただし、猛暑期間（6月～9月）外の工事については、猛暑日を考慮しない雨休率「0.8」とする。

- (2) 工事の性格 ( ) 日  
(3) 地域の事情 ( ) 日  
(4) 自然条件 ( ) 日  
(5) その他 ( ) 日

## 工事写真の電子データに関する特記仕様書

### 第1条（工事写真の提出）

当該工事（以下「本工事」という。）の工事写真を電子データの対象とするか否か、受注時に発注者、受注者協議の上、選択できるものとする。対象とした場合に必要な事項を以下のとおり定める。

### 第2条（工事写真）

工事写真は「写真管理基準」により撮影したものを指す。

### 第3条（電子データの作成）

電子データは、国土交通省版の「デジタル写真管理情報基準」に基づいて作成するものとする。

### 第4条（提出方法）

納品は要領に基づいて作成した電子データを電子媒体（CD-R）で2部提出する。  
なお、納品の際には事前にエラーチェックを行い、エラーが無いことを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで納品するものとする。

### 第5条（定めなき事項）

本仕様書および共通仕様書に定めのない事項や疑義が生じた場合は、必要に応じ監督員と協議するものとする。

## 情報共有システム（ASP）の活用に関する特記仕様書

### 第1条（情報共有システムの活用）

本工事は、発注者及び受注者の間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システム(ASP)の対象工事である。実施にあたっては「藤枝市における情報共有システム活用要領」及び「藤枝市における情報共有システム活用の手引き」に基づき実施する。受注者は、情報共有システムの利用の有無を発注者と協議し決定する。利用する場合に必要な事項を以下のとおり定める。

### 第2条（システムの選定）

受注者は、本工事で使用する情報共有システムを選定し、発注者と協議し承諾を得なければならない。利用する情報共有システムは次の要件を満たすものとする。

- ・「土木工事」の場合

工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 （最新版）

（国土交通省）

- ・「建築・建築設備工事」の場合

工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 営繕工事編 （最新版）

（国土交通省大臣官房官庁営繕部 整備課施設評価室）

### 第3条（利用契約）

発注者及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者との契約は、受注者が行うものとする。また、利用開始日、必要なユーザーID数やワークフロー機能の対象者等については、「事前協議チェックシート」に基づき、担当監督員と協議するものとする。

### 第4条（費用負担）

情報共有システムを利用する発注者及び受注者の費用は、情報共有システムへの登録料及び使用料であり、設計図書における経費のうち、共通仮設費の率分（技術管理費）に含まれるものとし、受注者の負担とする。



## 遠隔臨場の試行に関する特記仕様書

本工事（業務）は、遠隔臨場の試行の対象であり、受発注者間の調整により、遠隔臨場を実施することができる。

### （定義）

第1条 遠隔臨場とは、建設現場において、モバイル端末等による映像と音声の双方向通信を用いた立会・段階確認及び検査のことをいう。

### （適用）

第2条 遠隔臨場は、受注者がモバイル端末等で撮影した映像と音声を監督員又は検査員等にリアルタイム配信を行い、双方向通信により相互に確認を行うことにより、必要とする情報の入手が可能と監督員又は検査員が判断した場合に限り、臨場又は実地に替えることができるものとする。

### （実施方法）

第3条 受注者は、遠隔臨場を行う場合、以下の作業を実施する。

#### （1）事前調整

受注者は、監督員と遠隔臨場の実施日時、適用（確認する項目・内容）、仕様（使用する機器・アプリケーションまたはサービス）、その他必要な事項について調整する。なお、電話、メール等での調整を可とする。

#### （2）実施記録

受注者は、遠隔臨場が行われた証拠として、通信履歴の画面キャプチャ（写真）、通話中の監督員又は検査員の映像を含む写真等のいずれかの記録を行うものとする。

遠隔臨場が行われた内容の記録は、監督員又は検査員の臨場又は実地に替えて黒板に遠隔臨場であることを明記した写真により行うものとする。

### （実施手続）

第4条 遠隔臨場は、以下の手順により実施する。

#### （1）事前調整

受注者は、遠隔臨場の実施について、監督員と事前調整する。

#### （2）立会・段階確認、検査の申請

受注者は、遠隔臨場を実施する場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認項目欄又は検査依頼書の検査の種類欄に遠隔臨場であることを明記する。実施日時等の取扱いは、臨場の場合と同様とする。

ただし、監督員又は検査員が臨場の必要があると判断した場合は、遠隔臨場による申請を行った場合においても、臨場により実施するものとする。

#### （3）立会・段階確認、検査の実施

受注者は、実施予定日時に、監督員又は検査員に対して通信を開始して実施する。

ただし、監督員又は検査員が必要とする情報が得られないと判断した場合は、遠隔臨場を中止し、通常の臨場による確認を実施するものとする。

#### （4）立会・段階確認、検査の確認

受注者は、遠隔臨場による立会・段階確認を実施した場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認書に、実施記録を添付し監督員に提出するものとし、遠隔臨場による検査を実施した場合は、検査終了後速やかに実施記録を監督員経由で検査員に提出するものとする。

(機材等の手配・仕様)

第5条 受注者は、以下の項目により遠隔臨場に必要な機器等を準備するものとする。

- (1) 受注者は、現場で必要となるモバイル端末及び通信回線等の準備を行う。
- (2) 発注者は、発注者が保有するインターネット通信が可能なタブレット端末等を利用する。
- (3) 利用するアプリケーションまたはサービスは、発注者が保有するタブレット端末等で利用が可能であり、かつ、発注者の利用に際して新たな費用負担が生じないものを受注者が選定する。

(費用)

第6条 受注者が行う機材等の手配に要する経費は、共通仮設費（業務の場合は諸経費）の率分に含まれるものとし、別途計上しない。

(調査への協力)

第7条 受注者は、遠隔臨場を実施した場合、有効性や効果、課題等について把握するためのアンケート調査等に協力する。

## 交通誘導員の配置に関する特記仕様書（標準）

### （交通誘導員の設計計上数量）

第 1 条 本工事の施工に際しては、設計書に計上した交通誘導員の人員を配置する。なお、配置場所等については、監督員と協議するものとする。

### （安全対策）

第 2 条 受注者は、工事の施工に当たって交通整理等を行うときは、公共工事の円滑な執行に資することを理解し、事故のないよう適正に工事を実施しなければならない。

2 受注者は、工事の施工にあたって、交通整理等を行うときは、配置人員、配置位置及び配置期間等について、監督員と協議を行わなければならない。また、計画に変更が生じた場合も同様とする。

3 受注者は、工事の施工にあたって交通整理等を行った場合、工事完了時に実施内容の判る写真、交通誘導員勤務実績表を併せて提出しなければならない。

### （その他）

第 3 条 交通誘導員は、原則、警備業法（昭和 47 年法律第 117 号一部改正平成 16 年法律第 50 号）第 4 条による認定を受けた警備業者の警備員を配置するものとする。

2 現場代理人は、交通誘導員について、住民等から意見があった場合は、速やかに監督員へ報告し、協議を行うものとする。

3 現場代理人は、交通誘導員の点呼を取り、交通誘導員の健康状態や交通整理状況を常時把握し、異常のあるときは速やかに警備会社へ連絡し、交替を要請するとともに、交替要員が現場に到着するまでの間、交通誘導を要する現場作業は控えるものとする。

4 現場代理人は、施工区域内において、複数の他工事が重複する場合は、事故の未然防止及び安全対策に万全を期するとともに、他工事との調整等を図るなかで、交通誘導員を適正に配置するものとする。

## 個人情報取扱特記仕様書

### 1 基本的事項

受注者は、個人情報の保護の重要性を認識し、この契約による事務の実施に当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報を適切に取り扱わなければならない。

### 2 秘密の保持

受注者は、この契約による事務に関して知ることができた個人情報をみだりに他人に知らせてはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

### 3 収集の制限

- (1) 受注者は、この契約による事務进行处理するために個人情報を収集するときは、事務の目的を明確にするとともに、事務の目的を達成するために必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により行わなければならない。
- (2) 受注者は、この契約による事務进行处理するために個人情報を収集するときは、本人から収集し、本人以外から収集するときは、本人の同意を得た上で収集しなければならない。

### 4 利用及び提供の制限

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報を契約の目的以外の目的のために利用し、又は第三者に提供してはならない。

### 5 適正管理

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報の漏えい、滅失及びき損の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じなければならない。

### 6 複写又は複製の禁止

受注者は、この契約による事務进行处理するために発注者から引き渡された個人情報が記録された資料等を、複写し、又は複製してはならない。

### 7 再委託の禁止

受注者は、この契約による事務を行うための個人情報の処理は、自ら行うものとし、発注者が承諾した場合を除き、第三者にその処理を委託してはならない。

### 8 資料等の返済等

受注者は、この契約による事務进行处理するために発注者から引き渡され、又は受注者自らが収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等は、事務完了後直ちに発注者に返還し、又は引き渡すものとする。ただし、発注者が別に指示したときは、その指示に従うものとする。

### 9 従事者への周知

受注者は、この契約による事務に従事している者に対して、在職中及び退職後において、その事務に関して知り得た個人情報を他に漏らしてはならないこと及び契約の目的以外の目的に使用してはならないことなど、個人情報の保護に関し必要な事項を周知するものとする。

### 10 実地調査

発注者は、必要があると認めるときは、受注者がこの契約による事務の執行に当たり取扱っている個人情報の状況について、随時実地に調査することができる。

### 11 事故報告

受注者は、この契約に違反する事態が生じ、又は生じるおそれのあることを知ったときは、速やかに発注者に報告し、発注者の指示に従うものとする。

## 障害者差別解消法等に基づく差別的取扱いの禁止及び合理的配慮の提供についての留意事項に関する特記事項

（受注者の責務）

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成 25 年法律第 65 号）第 10 条第 1 項の規定に基づく「藤枝市における障害を理由とする差別を解消するための職員対応要領」(平成 28 年 3 月 11 日藤枝市長決定)第 2 条に規定する不当な差別的取扱いの禁止及び第 3 条に規定する合理的配慮の提供について留意すること。